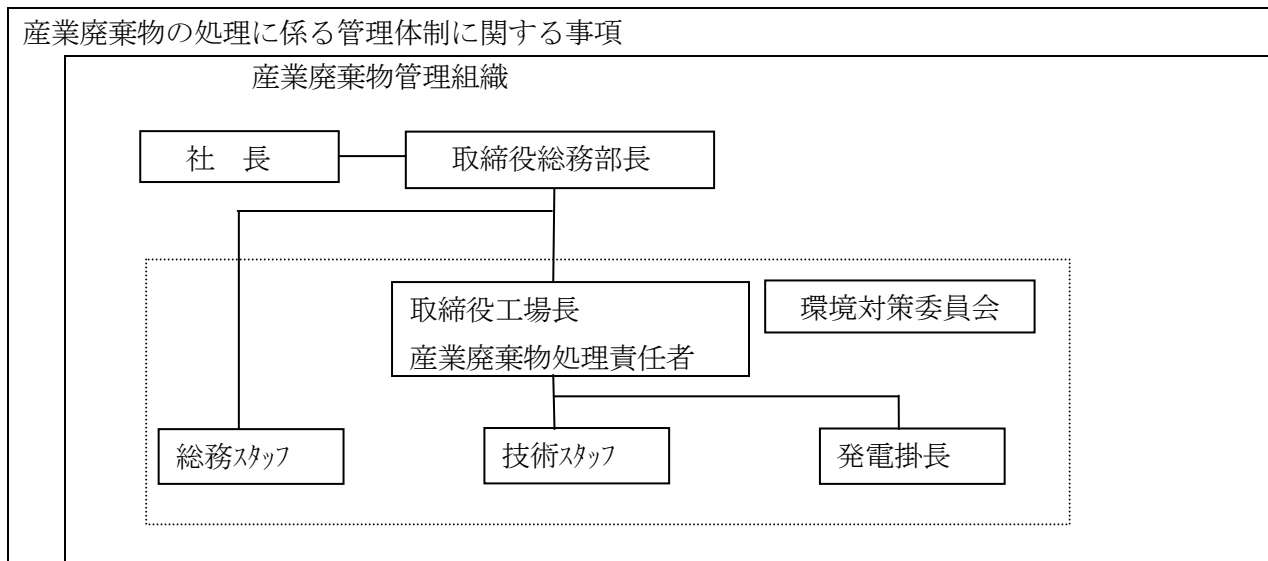


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年5月25日	
愛知県知事 殿	
提出者 住所 愛知県東海市東海町五丁目3番地 名称 東海共同発電株式会社 代表者 取締役工場長 三谷 定郎 電話番号 052-604-8144	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東海共同発電株式会社 名古屋発電所
事業場の所在地	愛知県東海市東海町五丁目3番地
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	33 電気業
②事業の規模	製造品(電力)出荷額 891,173万円(平成23年度)
③従業員数	47人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ばいじん(フライッシュ): 発電ボイラの燃焼ガス中に含まれるばいじんを電気集塵装置により捕集しフライッシュサイロに貯留 燃え殻(ボトムアッシュ): 発電ボイラの燃焼室で発生したクリカをボトムアッシュサイロに回収 汚泥(脱硫汚泥): 脱硫廃液を処理、凝集沈殿物を脱水処理 廃油(COGドレン): ボイラ燃料のCOGガス中のドレン(油分含)を回収 鉱さい(ろ材): ろ過器のろ過材を定期交換 廃アルカリ(アンモニア廃水): アンモニア製造設備から排出



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成23年度）実績】 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・燃料の選定 灰分低位石炭の選定 ・未燃カーボン低減対策 ・排水処理フッ素処理方法の改善 ・フッ素高濃度処理		
②計画	【目標】平成24年度 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 24年度は二ヶ月間の設備停止がありこの分排出量が減少する ・石炭の選定を強化して排出低減につなげたい。 ・汚泥の水分対策を図り減量化する。 24年度計画 ・フライアッシュ 34,000t ・廃アルカリ 5 t ・COGトレン 200t ・ボトムアッシュ 2,200 t ・廃プラスチック 1 t ・汚泥 2,200t ・鉍さい 5 t 合計38,611 t		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発生⇒各々個別サロ(ホッパー)⇒切り出し(運搬)で問題なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】2年後（平成24年度中）		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】平成24年度		「別紙のとおり」	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

項目			産業廃棄物の種類					
			ばいじん	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック	鉱さい
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	①現状	排出量	37006t	2300t	2236t	272t	1t	4t
	②計画【目標】	排出量	34000t	2200t	2200t	200t	1t	5t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状	再生利用量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	②計画【目標】	再生利用量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状	熱回収処理量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		中間処理量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	②計画【目標】	熱回収処理量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		中間処理量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	①現状	埋立処分量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	②計画【目標】	埋立処分量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状	全処理委託量	37006t	2300t	2236t	272t	1t	4t
		優良業者委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		再生利用業者委託量	37006t	2300t	0t	272t	0t	0t
		認定熱回収業者委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		認定以外熱回収業者委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	②計画【目標】	全処理委託量	34000t	2200t	2200t	200t	1t	4t
		優良業者委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		再生利用業者委託量	34000t	2200t	0t	200t	0t	0t
		認定熱回収業者委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		認定以外熱回収業者委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

※現状：【前年度（平成23年度）実績】